

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院集中治療室で治療を受ける  
患者さん・ご家族の皆様へ  
「Film Array 導入による救急外来における滞在時間の検討」について

(1) 研究の目的

当院では救急外来において COVID19 患者さんに対し、スクリーニング検査として問診、画像所見、新型コロナ核酸増幅検査(LAMP 法)を行っていました。COVID19 検査結果が判明するまでは「擬似症」としての管理が必要であり、COVID19 患者さんが増えた時期は、疑似症病棟は常に満床に近い状況でした。また、入院場所が確保できないことにより、救急車を断らざるを得ない症例も発生しました。

当院では 3 月末より、LAMP 法に代わり全自動遺伝子解析装置 FilmArray を導入しました。Film Array では新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)を含めた 18 種類の肺炎の原因微生物を 45 分で検出することができ、迅速な診断決定に大いに役立ちます。本研究では、FilmArray 導入により救急外来での変化や有効性について検証いたします。

本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会にて審議され、学長の承認を得て行っております。

研究実施期間：承認後～2022 年 8 月 31 日

(2) 研究の方法

2021 年 1 月 1 日～2021 年 6 月 30 日に当院に救急搬送され、疑似症として入院された患者さんが対象となります。患者さんの年齢、性別、入院の原因となった疾患、体温、血圧、心拍数、SPO2、呼吸数、救急外来にて施行した検査、救急外来にて疑似症対応を解除できたかどうか、入院先についての情報を研究に使用させていただきます。本調査は純粋な調査研究であり、患者さんへの直接的な介入や侵襲はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

(3) 問い合わせ ・ 相談窓口

この研究の対象となられる方で、ご自分あるいはご家族の情報を登録されたくない場合には、2022 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。お申し出のあった患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。また、お申し出により何ら不利益を被ることはありません。なお、2022 年 3 月 31 日までにお申し出がなかった場合には、参加を了承いただいたとさせていただきます。

**連絡先** 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター  
住 所：〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1  
電 話：045-366-1111 (代表)  
担当医師：佐藤健太郎 (内線:8156)  
対応時間：9 時～17 時